

命令文

1. 命令文ってなに？

相手に「～しなさい」と指示したり、「～して」とお願いしたりする文です。

目の前の相手（You）に向かって言うので、主語の「You」を省略します。

【命令文の公式】

動詞の原形から文を始める！

主語を言わずに、いきなり「動作」から入ることで、相手に強く響く形になります。

・ You open the door. （あなたはドアを開けます）

↓ You をカット！

・ Open the door. （ドアを開けなさい / 開けて）

2. 3つのパターン

動詞の種類によって、作り方のパターンが決まっています。

① 一般動詞の命令文

そのまんま、動詞から始めます。

・ Study hard. （一生懸命勉強しなさい）

・ Look at this picture. （この写真を見なさい）

・ Sit down. （座りなさい）

② be 動詞の命令文

これが盲点です！ am, are, is の「原形（もとの形）」である be を使います。

「～の状態でありなさい」という意味になります。

・ Be quiet. （静かにしなさい）

・ Be careful. （気をつけなさい）

・ Be a good boy. （いい子にしてください）

・ Be kind to others. （他人に親切にしなさい）

③ 丁寧な命令文（Please）

いきなり動詞から始めると、どうしても「命令」口調で偉そうに聞こえます。

Please（プリーズ）をつけると、「～してください」という丁寧なお願いになります。

・ Please open the door. （ドアを開けてください）

・ Open the door, please. （ドアを開けてください）

※後ろにつけるときは、カンマ（ , ）を置くのがルールです。

3. 禁止の命令文（～するな）

「～してはいけない」と禁止するときは、文の最初に Don't を置きます。
一般動詞でも be 動詞でも、必ず Don't です。

【禁止の公式】

Don't + 動詞の原形 ～.

- ・ Don't swim here. （ここで泳いではいけません）
- ・ Don't be shy. （恥ずかしがらないで→恥ずかしがってはいけません）
- ・ Don't worry. （心配しないで）

4. 誘う文（Let's）

「～しなさい」ではなく、「一緒に～しよう」と誘うときも命令文の仲間を使います。

【勧誘の公式】

Let's + 動詞の原形 ～.

- ・ Let's go! （行こう！）
 - ・ Let's play soccer. （サッカーをしよう）
- Yes, let's. （うん、しよう）
→No, let's not. （いや、やめておこう）